ほぼ週刊コラム　Partnership論　その２２２

**シリーズ：『米国Partnership税制勉強会』**

**第三十二回勉強会（通年内容は**[**年表rev.9**](http://llc.a.la9.jp/Papers/evolution%20history/evolution%20history%20of%20US%20partnership%20taxation%20rev9.ppt)**参照方）の準備**

**当初からこの”As if” Representationはそれ自体a fictionだった。即ち、
代議員がひとたび同意したことは、その者を送り出した有権者達が同意したことであり、四の五の言うことは許されなかった。**

20170203 rev.1 齋藤旬

 [**Inventing the People**](https://www.amazon.com/Inventing-People-Popular-Sovereignty-England/dp/0393306232/ref%3Dsr_1_1?ie=UTF8&qid=1477553338&sr=8-1&keywords=Inventing+the+People)**の半訳作業ファイルwork12を**[**和英混訳**](http://llc.a.la9.jp/WaEi%20KonYaku.htm)**のコーナーにアップした。**

2．The Enigma of Representation 27-28

今週は、この頁を半訳した。

　注目は28頁の以下の部分：

“As if” Representation from the beginning was itself a fiction. If the representative consented, his constituents had to make believe that they had done so.

当初からこの”As if” Representationはそれ自体a fictionだったのだ。即ち、代議員がひとたび同意したことは、その者を送り出した有権者達が同意したことであり、四の五の言うことは許されなかった。

　**さて、この勉強会を会社の会議室で行うのも二月末三月末の二回を残すのみとなった**。35年間の会社生活に私はこの三月末でピリオドを打つ。

　しかし勉強会は続ける。四月は準備に当てて、GW明けには何らかの形（もしかしたらネット上でのみ？）で勉強会を再開するつもりだ。

　ほぼ毎週発行している当記事の、引き続き乃至新規にメール配信を希望される方は、私宛に件名を「配信希望」としてメールを頂けると有り難い。準備でき次第、毎週このシリーズお送りします。

今週は以上。来週も請うご期待。